

ナイジェリア

2020年11月17日

海外調査部・ラゴス事務所

■実質GDP成長率は2.3%、前年より緩やかに上昇

ナイジェリア国家統計局によると、2019年の実質GDP成長率は2.3%で、前年の1.9%から0.4ポイント上昇した。情報通信セクターが通年で9.2%の高い成長率だったことや、鉱業セクターが2019年第2四半期からプラス成長に転じたこと、金融保険セクターが第4四半期に20.2%を記録したことが貢献した。ナイジェリア中央銀行（CBN）が2019年10月に市中銀行に対し、2020年3月末までに預貸率を65%へ引き上げるよう義務付け、その結果銀行の融資が増加したことが背景とみられる。

■輸出額は横ばいも輸入額が増加

ナイジェリア国家統計局によると、2019年の輸出額は前年比0.5%増の19兆1,922億ナイラと横ばい、輸入額は16兆9,599億ナイラと28.8%増だった。輸入額が伸びたため、貿易黒字は28億6,800万ドルに縮小した。

輸出の品目別では、原油を含む鉱物性生産品が最多で（構成比87.2%）16兆7,291億ナイラだった。次に多いのは輸送機器・同関連品（6.1%）で前年比3倍超の1兆1,636億ナイラと大きく伸びた。このうち5,571億ナイラ（47.9%）がガーナ向けの船舶関連製品だった。卑金属・同製品も8,053億ナイラと大きく伸ばしたが、このうち7,503億ナイラがガーナ向けのケーブル外装だった。

国別輸出先では、原油輸出先であるインド、スペイン、オランダが上位3カ国だった。

品目別の輸入は、機械・電気機器・同関連品（26.8%）が最多で前年比26.4%増の4兆5,412億ナイラだった。次に多いのはガソリンを含む鉱物性生産品（16.0%）で26.7%減少した。なお、政府は欧米からの輸入ガソリンに補助金を投入して国民に安価に提供しているが、価格差を利用した隣国への

表1 ナイジェリアの主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ナイラ、%）

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2018年		2019年		2018年		2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
鉱物性生産品	17,283,574	16,729,112	87.2	△3.2	機械・電気機器・同関連品	3,592,380	4,541,153	26.8	26.4
原油	15,156,395	14,690,021	76.5	△3.1	鉱物性生産品	3,709,660	2,718,830	16.0	△26.7
液化天然ガス	1,902,735	1,782,607	9.3	△6.3	輸送機器・同関連品	1,006,132	2,351,983	13.9	133.8
プロパン	178,953	22,950	0.1	△87.2	化学工業製品	1,593,282	1,388,031	8.2	△12.9
ブタン	45,492	20,727	0.1	△54.4	精密機器・同関連品	659,165	1,207,569	7.1	83.2
輸送機器・同関連品	374,640	1,163,598	6.1	210.6	卑金属・同製品	366,797	784,974	4.6	114.0
卑金属・同製品	58,970	805,330	4.2	1,265.7	プラスチック・ゴム製品	231,412	695,204	4.1	200.4
加工食品・飲料品	113,597	174,257	0.9	53.4	加工食品・飲料品	466,144	676,364	4.0	45.1
植物性生産品	257,642	155,244	0.8	△39.7	植物性生産品	821,314	586,628	3.5	△28.6
化学工業製品	184,323	67,759	0.4	△63.2	木材パルプ・同製品	178,676	491,108	2.9	174.9
プラスチック・ゴム製品	17,119	31,543	0.2	84.3	動物性生産品	269,725	421,670	2.5	56.3
合計（その他含む）	19,099,545	19,192,234	100.0	0.5	合計（その他含む）	13,165,127	16,959,875	100.0	28.8

〔出所〕ナイジェリア国家統計局

表2 ナイジェリアの主要国・地域別輸出入〈通関ベース〉

(単位：100万ナイラ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年	2019年				2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
インド	3,032,277	2,957,817	15.4	△2.5	中国	2,555,436	4,317,931	25.5	69.0
スペイン	1,934,078	1,903,894	9.9	△1.6	インド	688,645	2,041,764	12.0	196.5
オランダ	2,051,225	1,742,592	9.1	△15.0	米国	966,910	1,674,203	9.9	73.1
ガーナ	116,984	1,432,832	7.5	1,124.8	オランダ	1,501,640	1,250,516	7.4	△16.7
フランス	1,513,884	1,270,718	6.6	△16.1	ベルギー	1,112,761	850,620	5.0	△23.6
南アフリカ	1,117,586	1,127,618	5.9	0.9	エスワティニ	33,413	557,101	3.3	1,567.3
米国	1,159,696	1,008,343	5.3	△13.1	ドイツ	357,731	521,541	3.1	45.8
イタリア	578,021	761,747	4.0	31.8	英国	332,479	481,440	2.8	44.8
中国	318,263	595,989	3.1	87.3	アラブ首長国連邦	147,603	429,252	2.5	190.8
インドネシア	778,862	529,315	2.8	△32.0	韓国	1,425,631	363,149	2.1	△74.5
合計 (その他含む)	19,099,545	19,192,234	100.0	0.5	合計 (その他含む)	13,165,127	16,959,875	100.0	28.8

〔出所〕 ナイジェリア国家統計局

密輸出が絶えなかった。2019年8月に政府は隣接国へのガソリンの密輸出や農産品の密輸入を阻止するため陸路国境を封鎖した。

輸送機器・同関連品の輸入は前年比2.3倍の2兆3,520億ナイラで、このうち中古車が8,294億ナイラ、うち5,916億ナイラが米国からだった。オートバイの輸入額はインドからが3,505億ナイラ、中国からが1,513億ナイラだった。

輸入元国別では中国が最多(25.5%)で、4兆3,179億ナイラだった。このうち2兆183億ナイラが機械・電気機器だった。次いでインド(12.0%)、米国(9.9%)からの輸入が多かった。

■外貨不足により輸入決済が滞る

2019年の対内直接投資は239億9,000万ドル、このうち銀行、ファイナンス、株式投資の金融セクターが全体の80.3%を占めた。

外貨準備高は2019年7月中旬に451億ドルを記録して以降、貿易黒字縮小や2020年3月の原油価格暴落が影響して減少し続けた。5月初旬に国際通貨基金(IMF)の緊急融資34億ドルが実行され若干持ち直したものの7月末時点で359億ドルまで落ち込んだ。貿易決済用の外為はNAFEX(自律的外為市場)レートが基準で、7月末時点で1ドル当たり388.68ナイラだった。7月末の外貨準備高をNAFEXレートで換算して2019年の月間平均輸入額で除すと9.9カ月分になる。

2016年10月に239億ドルにまで落ち込んだときほどの危機的水準とはいえないが、ナイジェリア中央

表3 ナイジェリアの業種別対内直接投資〈フロー〉

(単位：100万ドル、%)

	2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率
銀行	2,023	7,658	31.9	73.6
ファイナンス	1,488	6,281	26.2	322.1
株式投資	10,425	5,335	22.2	△95.4
製造業	671	1,297	5.4	93.3
通信	114	944	3.9	87.9
サービス	1,297	915	3.8	△29.5
流通	132	534	2.2	75.3
農業	289	490	2.0	69.6
石油・ガス	134	216	0.9	38.0
ITサービス	54	75	0.3	38.9
漁業	53	65	0.3	18.5
電力	37	49	0.2	24.5
醸造	5	30	0.1	500.0
建設	54	26	0.1	△107.7
運輸	15	25	0.1	66.7
マーケティング	8	15	0.1	46.7
コンサルティング	5	5	0.0	0.0
掘削	9		0.0	全減
合計 (その他含む)	16,812	23,990	100.0	42.7

〔出所〕 ナイジェリア国家統計局

銀行（CBN）は2020年3月からガソリンや医療分野など必需品目を除き、企業に対する外貨割り当てを大幅に削減した。製造業の裾野が狭いナイジェリアでは多くの製造業が輸入原材料に頼っており、外貨不足によって輸入代金が支払えない課題に直面している。NAFEX枠だけでは賅えない輸入決済需要が認定両替商（Bureau De Change、BDC）や並行市場に流れ、BDCレートは7月末に1ドル当たり473ナイラにまで下落した。

最近の小口決済には外貨不足の影響を受けない暗号資産（仮想通貨）も使われる。貿易プラットフォームを構築するスタンデージ（STANDAGE、東京都）が提供するシステムは、米国のサークルが発行し米ドルにペッグしているUSDコイン（USDC）とエスクロー口座（サイバー金庫）を介して決済する。ブロックチェーンを利用し改ざんを防ぐ。銀行を介さないことから手続きも簡便で手数料も格安で、外貨不足のピンチがビジネスチャンスになっている。

■日本企業がスタートアップ関連で投資

財務省貿易統計によると、日本のナイジェリアからの輸入は前年比44.6%減の5億1,049万ドルだった。最も構成比の高い液化天然ガス（58.5%）が58.3%減少した。

日本のナイジェリアへの輸出額は前年比19.4%増の3億9,198万ドルだった。このうち一般機械と輸送用機器で全体の47.1%を占めた。

表4 日本の対ナイジェリア主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：1,000ドル、%）

	輸入（CIF）					輸出（FOB）			
	2018年	2019年				2018年	2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
液化天然ガス	715,637	298,390	58.5	△58.3	一般機械	40,848	98,678	25.2	141.6
非鉄金属	141,610	100,319	19.7	△29.2	輸送用機器	67,972	86,016	21.9	26.5
原料品	63,735	110,829	21.7	73.9	自動車	44,694	55,165	14.1	23.4
食料品	460	646	0.1	40.4	乗用車	12,913	16,606	4.2	28.6
魚介類	335	386	0.1	15.2	バス・トラック	25,346	27,778	7.1	9.6
野菜	33	59	0.0	78.8	自動車の部分品	14,555	18,562	4.7	27.5
					二輪自動車	6,409	8,239	2.1	28.6
					原料別製品	78,165	62,248	15.9	△20.4
					鉄鋼	54,869	41,822	10.7	△23.8
					ゴム製品	17,519	14,689	3.7	△16.2
					食料品	52,146	53,848	13.7	3.3
					原料品	38,883	44,325	11.3	14.0
					化学製品	37,223	28,182	7.2	△24.3
合計（その他含む）	922,005	510,487	100.0	△44.6	合計（その他含む）	328,188	391,980	100.0	19.4

〔出所〕財務省貿易統計

日本企業によるナイジェリアへの投資では、前述のスタンデージが2019年2月にラゴスに現地法人を設立した。ブロードバンドの普及によりスタートアップ関連の投資も続く。ベンチャーキャピタルではAAICが2020年内にラゴスに現地法人を開設見込みである。同じくベンチャーキャピタルのKepple Africa Venturesは2020年5月、前述のスタンデージと資本提携した。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：2億96万人（2019年）			
②面積：92万3,769km ²			
③1人当たりGDP：2,230米ドル （2019年）			
④実質GDP成長率（%）	0.8	1.9	2.3
⑤消費者物価上昇率（%）	16.5	12.1	11.4
⑥失業率（%）	17.5	22.6	n.a.
⑦貿易収支（100万米ドル）	13,200	19,420	2,868
⑧経常収支（100万米ドル）	7,667	8,499	△17,016
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	39,609	42,839	38,336
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	18,913	25,274	27,676
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ナイラ、期中平均）	305.8	306.1	306.9

〔注〕 ①③：推計値、⑦⑧：暫定値、⑦：国際収支ベース（財のみ）
 〔出所〕 ①③：世界銀行、②④⑤：ナイジェリア国家統計局、⑥⑨⑪：IMF、⑦⑧：ナイジェリア中央銀行、⑩：ナイジェリア債務管理局

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp